

「牛肉は好きですか？」(食文化の違い)

活動展開例

[ねらい]

コミュニケーション活動	友達と、食べ物の好き嫌いについて聞いたり答えたりしようとする。
言語・文化の理解	食についての偏見を無くすことや、それぞれの国の食文化を尊重することの大切さを理解する。


[主な言語材料]

- ・ Do you like (beef)? Yes, I do./ No, I don't.
- ・ What (fruit) do you like? (この表現については、聞いて意味が分かればよい) It's (apples).

[準備]

教師	ワークシート(5~10種類)、食材のカード
児童	筆記用具

[展開]

時間	活動内容 ねらい	留意点	教師の動き	予想される児童の反応
↑	1 英語であいさつをする。 明るく元気な雰囲気を作る。		1 元気よくあいさつをする。 Hello, everyone. How are you?	
	2 自分の好きな食べ物を答える。 食べ物に関する共通の話題を作るとともに人によって好み異なることを理解させる。		2 好きな食べ物について質問する。 今日は、食べ物について考えてみたいと思います。 What <u>fruit</u> do you like? <u>oranges</u> ? <u>melons</u> ? <u>bananas</u> ? I like <u>apples</u> .	
12分		質問の文は、児童は「聞くこと」ができればよい。 「It's . . .」と答えられなくてもよいこととする。 複数形で答えることについては、実態に応じて教えればよい。 果物の英語での言い方が分からないときは、日本語で答えてもよい。	* 一人を指名する。 What fruit do you like? orange. Oh, <u>oranges</u> . Thank you.	
			* 続けて何人かをテンポよく指名して答えさせる。 ある調査では、日本人の好きな果物の1位は「いちご」、小学生では「メロン」が1位でした。このクラスでは、「 <u> </u> 」が好きな人が多かったね。 では、次の質問です。	
				* 一人を指名する。 What <u>curry</u> do you like?

チキンカレー。

Oh, チキンカレー。 Thank you.

* 続けて何人かをテンポよく指名して答えさせる。

何カレーが好きかは、人によって違いますね。国によっても違うのでしょうか。 カレーはどここの国の料理かな？

インド。

正解です。よく分かりましたね。
でもインドでは、みんなの食べているカレーと違って、具材はチキンならチキン、豆なら豆という風に、何か一つだけ入れるのが普通なんだそうです。

へえー！ 豆だけ入れたカレー？ なんだかさみしい。

詳しくは、自分で調べてみるとおもしろいよ。

3 日本食について考える。

日本食にはどんなものがあるかを確認させ特徴を理解させる。

後半の活動時間を確保するため、テンポよくすすめたい。

「sushi」のアクセントが「寿司」と異なることなどについて触れるのもよい。



3 日本食にはどんなものがあるか考えさせ、魚を生で食べることが外国人からどのように思われているのかを理解させる。

食べ物の好みって、人によって違うでしょう。では、我が国、日本の料理(和食)について聞いてみます。
日本の料理っていえば、どんなものがあるかな？

寿司。てんぷら。うどん。そば。すきやき。もち。漬物。なっとう。うなぎ。とうふ。味噌汁。おにぎり。刺身。

いろいろなものがありますね。では、これらの日本の料理の中で自分の好きなものは何でしょうか？
What Japanese food do you like?

寿司。 sushi。 そば。 てんぷら。

Oh, Sushi. Soba. Tempura.
人によってやっぱり好みが変わりますね。

みんなに人気のあった「寿司」ですが・・・、日本人が魚を生で食べると聞くと、少し前までは外国の人はこんな姿を想像したそうです。(絵を見せる)

怖い。 ひどい。 こういうふうには食べないよ。

日本食の良さについて理解させたい。

- 4 ワークシートを受け取り、配付された国の食べ物について確認する。
会話の前に知識を整理させる。

児童に配るときには、「Here you are.」を使うとよい。
受け取った児童には、「Thank you.」を言わせるようにする。

- 5 ルールを覚える。
活動方法と記入方法を理解させる。

実態に応じて、児童に分かるように説明する。



- 6 会話練習をする。
英語の言い方に慣れさせ自信をもたせる。

ここでは、食べ物としての好き嫌いを聞くために、「Do you like...」を使った。
例えば「Do you like dog?」の場合は、dog(犬)が食べ物として好きかどうかを聞いていくということである。
答え方は「Yes./No.」のみでもよい。

実は、魚を生で食べるのは、日本だけだったようです。少し前まではね。外国人からは、「魚を生で食べるなんて気持ち悪い」とか「衛生的でない」と思われていたのです。
今では外国でも日本食が「美味しい」とか「健康に良い」という理由でブームになっていて、寿司や刺身を食べる外国人も増えたようですけどね。

- 4 ワークシートを児童に配付する。

日本人が生魚を食べるのが外国人からは珍しいように、外国人も何か日本人と違ったものを食べているのだろうか？
興味がわくでしょう。英語を使って調べてみよう。

まずはワークシートを配ります。

* 「Here you are.」を使って、5～10種類のワークシートを配る。(児童数等の条件に応じて、何種類使うかを決めておく)

名前を書いたら、だまってワークシートを読みましょう。周りの人とは見せ合わないようしてください。

- 5 活動方法とワークシートの記入方法を説明する。

ルールを説明します。

自分と異なる国のワークシートを持っている友達に話しかけ、国ごとに書かれた食べ物の好みについて質問したり答えたりする。
より多くの友達とコミュニケーションをとるため、同じ人には1回しか質問をすることはできない。
(児童数による)
ワークシートの食べ物一覧表のところに「(Yes)」か「×(No)」の印を書く。

- 6 コミュニケーション活動で使う会話表現を練習させる。

最初に、英語での聞き方と答え方を練習しましょう。
まず、聞き方の練習です。
牛肉が好きかどうか聞くのには、こうに言います。
Do you like beef(牛肉)?

Do you like beef?

* 「beef」のところを変えながら何回か練習する。

次に答え方の練習です。
ここでは、食べ物として好きなら、「Yes, I do.」と言います。
「Yes, I do.」(*「Yes.」のみでもよい。)

児童が自信をもって楽しく活動できるよう十分に練習する。食材の言い方については、日本語でもよいものとする。



Yes, I do. (* Yes.)

好きでないときは、「No, I don't.」 (* 「No.」のみでもよい。) 食べ物として好きでないときですよ。

No, I don't. (* No.)

続けて言いましょう。
Do you like beef?

Do you like beef?

Yes, I do.

Yes, I do.

No, I don't.

No, I don't.

大丈夫かな？ もし、途中で分からなくなったら、先生や友達に教えてもらってもいいですよ。

7 活動をする。

友達とすすんでコミュニケーションをとらせる。

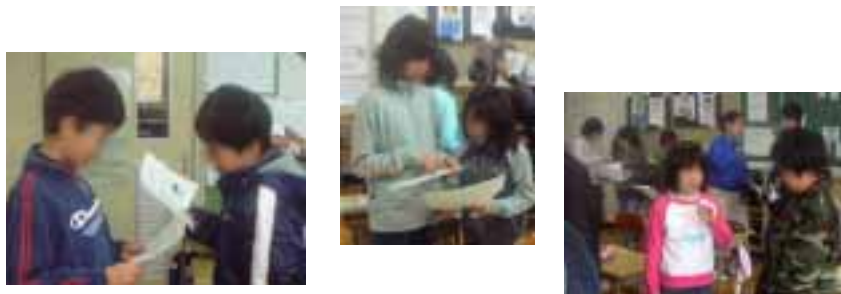
ここが大切！
コミュニケーション活動には、少なくとも10分程度は時間をとりたい。

12分

7 活動に取り組ませ、支援する。

では始めます。間違ってもいいから、すすんで友達に質問したり答えたりしてみましょう。
Are you ready? Let's start.

* たっぷり時間を掛けて、より多くの友達とコミュニケーションをとれるように支援する。



(10分程度たったら) Time is up. Please go back to your seat.

活動をしてみて、いろいろなことが分かったでしょう。びっくりしたことや疑問に思ったこともあるんじゃないかな？

↑
13分

8 発表を聞き、各国の食べ物についての疑問を解決する。

いろいろな国の食べ物の違いに興味をもたせ国際理解を深める。

Do you like (beef)? 等の英語をできるだけ使って、英語に親しむ雰囲気を継続させたい。

児童の興味・関心に合わせて、牛肉以外の食べ物についても同様に聞いていく。「食べ物ごと、国ごと」に発表させるのでなく、興味深かったことを児童にどんどん発表させる方法でもよい。

9 宗教上の理由で食べられないものがあることについての話を聞く。

食に対する偏見を無くす。

子どもに感想や意見を発表させて、そこからまとめられると、さらによい。

8 それぞれの国の食べ物について、ワークシートに書かれた説明文を児童に発表させる。

「なぜだろう?」と思った疑問を、解決していこうか。例えば、「牛肉」を食べる国と食べない国があるけど、なぜだろうか?

インド人に聞きます。Do you like beef (牛肉)?

No.

“No.” OK. Thank you. なぜ牛肉を食べないのだろうか?

インドには牛がいらない。田んぼ仕事で活躍してもらうから。おいしくないから。

インド人に聞きます。なぜ牛肉を食べないのだろうか?

* 児童を一人指名する。(インド担当の児童)

「牛は神様である」というヒンズー教の教えのため、インド人の多くは牛を食べません。(ワークシートより)

Thank you. 牛は神様だと考えているんだね。

* 他の食べ物についても同様に聞いていく。

9 宗教上の理由によって食べられないものがあることについて補足説明し、まとめとする。

インド人の多く(8億人以上)は、牛は神様であるという宗教の教えのため牛を食べないということだけど...、もし、自分の家にインド人の留学生が来たとします。「インドといったらカレーだね!」、「お客様だから高い牛肉を!」なんてビーフカレーを出したら、どうなるでしょう。

神様を食べさせちゃう。ひどい。

大変なことになっちゃいますよね。これ、本当に笑えないんですよ。

今日の活動で、国によって食べ物に違いがあることが分かりましたね。特に、好き嫌いのせいではなく、宗教の教えで食べられないものがあることが分かったと思います。外国人と付き合うとき、お互いの国の食べ物の違いを尊重していきたいですね。

10 終わりのあいさつをする。

本時を振り返り、次回の英語活動への期待をもたせる。

10 終わりのあいさつをする。

今日は、便利な英語を覚えたでしょう。みんなに聞きますよ。
Do you like 給食？

Yes.

やっぱり給食はいいですね。でも、この英語は、食べ物以外にも使えるんですよ。

Do you like 休み時間？ / Do you like 先生？(自分を指して)

Yes.

/ Yes. No. おえ～！

英語を使う国の人に会ったら、ぜひ「Do you like 何々？」を使ってみてください。では、みなさん。See you!

See you!